

## 第2回奈良市みどりの基本計画策定委員会に関する意見の概要

開催日時	令和6年3月26日（火）午後3時から午後5時まで
開催場所	奈良市役所 北棟6階 601会議室
意見等を求める内容等	1. 第1回策定委員会における各委員コメント及び対応方針 2. みどりの基本施策、重点施策、目標・指標について
参加者	出席者5人 ・ 事務局 8人
開催形態	公開（傍聴人0人）
担当課	都市整備部 公園緑地課

### 意見等の内容の取り纏め

事務局による概要説明の後、出席者に意見を求めた。

《意見を求めた内容及びそれらに対する意見等》

1. 第1回策定委員会における各委員コメント及び対応方針  
事務局より、説明を行い、意見を求めた。

#### 【意見等】

〈みどりに関する国家戦略について〉

- ・社会背景について、2030年まででなく、もっと先を見据えた国や世界の動きも取り入れる必要があり、短視眼になってもよくない。
- ・検討の進め方について、前回意見があったため、知識として資料として作成しただけなのか、「生物多様性国家戦略」を本計画のバックグラウンドとしたいのかどうなのか。こうした色々な情報や、市の目指すところなどを踏まえて議論しておけば良いと思う。

〈みどりの機能と効果について〉

○図全体について

- ・「機能」と「効果」の使い分けについて整理が必要。
- ・縦軸や項目の配置にも意味があると思うがわかりにくく、少し整理が必要。
- ・みどりは利用してこそであり、利用を伴う・伴わないは微妙。存在効果としてのベースがあり、その上に利用効果や波及効果が広がっていくという描き方がわかりやすいと思う。
- ・上下の軸で繋りがあるなど、関連する内容が近くあるなど項目の配置に関連があるとわかりやすい。

・この機能と効果の図はわかりにくいということで、持ち帰って再度検討していただきたい。

・図の一番上の部分には奈良市が目指すビジョンを示してはどうか。一目見て分かるように色の統一など3階層で整理してはどうか。オンサイト、オフサイトもわかりにくい。

○個別の語句について

- ・【都市防災機能】の「機能」を削除
- ・【生産】の文言を精査
- ・【文化・教養】は環境教育の内容を含むため【文化・教育】に変更
- ・【コミュニティ形成】の「・緑化活動～」を「緑を通じた活動」に変更
- ・【福祉・教育】は中身に合わせ、ウェルビーイングの意味を含んだタイトルに変更
- ・【シビックプライドの育成】は、内容部分に「自負」を追加
- ・【商業・にぎわい】の「にぎわい」を「地域の活力」に変更
- ・【潤い、憩いや安らぎの提供】は、内容と「潤い」があまり関係ないので、削除
- ・【生産】は【食料生産】としてはどうか。
- ・【福祉・教育】はウェルビーイングの意味を含む【福祉・健康】に変更
- ・【商業・にぎわい】の「にぎわい」を別の表現に変更
- ・「自負」よりも「当事者意識」のほうがわかりやすい
- ・【文化・教養】は、「教育」でなく「教養」を使う方がいい。みどりの可能性という観点から「芸術」も入れてはどうか。

【文化・教養】の3つの項目は類似しており整理が必要なほか、市民農園もここに入るのではないか。

- ・【文化・教養】には、「芸術」の観点は入れない方がいいのではないか。

○図の解説文について

・機能について「みどりには多様な機能があり、人間に様々な効果をもたらしている」ことを文章で示し、イメージイラストでは効果について記載してはどうか。

・存在効果、利用効果、波及効果はそれぞれどういうものかといった説明はあっても良い。

・みどりの効果について説明を得られるとみどりに対する市民の見方も変わり、その底上げが市の課題であることから、波及効果を出すことで下の2つの効果の大切さがわかるような図のバランスや説明文の加筆が必要。

○その他語句の解説

- ・「みどり」をひらがなとした理由の説明が必要。
- ・「オンサイト」、「オフサイト」の語句説明が必要。

〈奈良市のみどりの現状について〉

○奈良市のみどりの現状【生産緑地】について

・生産緑地は税制面だけでなく多面的な機能、効果を持っている。農地における生物多様性や災害被害低減効果、減少している活動者への対応などを基本計画に書いても実現させていけるのが不安である。各課連携も見据えて書かないと絵にかいた餅になってしまう

う。

・都市計画課、地域づくり推進課の取組みが農業につながっているので、全体の戦略的なコミュニケーションであったり、情報発信も引き続き連携してもらいたい。

○河川に関する現状や課題について

・河川に関して、現状や課題はないのか、放置されているイメージがある。

・河川耕地課のヒアリング結果についても資料に入れてもらいたい。奈良市域の計画であり、課題としてどういうことがあるのか示してほしい。

○奈良市のみどりの問題点「みどり全体をトータルでマネジメントする仕組みがない」について

・みどりの基本計画をきっかけに連携で取り組む事業や役割分担のあり方などを戦略的に話し合えるプラットフォームにつながると良い。

○奈良市のみどりの問題点「みどりに関する取組みの戦略的プロモーションがなされていない」について

・「プロモーション」という言葉に違和感があり、「コミュニケーション」という言葉の方が人々に情報を伝えるという意味では適切。

〈施策について〉

○施策体系について

・体系図の見方と基本計画の目次の関係を教えてもらいたい。

・どう見ればよいか理解できず、どこまでがどのように実現されるかイメージができない。

○重視すべきみどりの役割について

・「健康福祉への寄与」と「環境炭素固定系への寄与」の2本柱でも良いのではないか。

・みどりの質を維持すると同時に社会・人間の暮らし、健康福祉にも貢献していくという2本柱でも良いと思う。

・「グリーンインフラの重視」と「カーボンニュートラルの実現」を1つの項目としてまとめてもいいと思う。

・カーボンニュートラルはみどりを豊かにすることによるものとそうでない部分もありわかりにくいほか、グリーンインフラも多様であり、文言整理が必要。

・グリーンインフラは「重視」が重複するため、「グリーンインフラの推進」としてはどうか。

・思い描く奈良市の多様なみどりを実現するために「重視すべきみどりの役割」があるというストーリーを描いてもらいたい。

・基本方針はイメージがわかりやすいが、基本方針と「重視すべきみどりの役割」は結び付きにくい。

・基本方針と施策の柱の間に挟んで表記したためわかりにくくなったのは否めないの、横を貫くような形で、またもう少し具体的な言葉に絞り込んだ方がよいと思う。

・基本方針と重視すべきみどりの役割が結びつくようにリンクさせ、みどりの役割の位置を再検討すべき。

・重視すべきみどりの役割ごとに指標を設定するのであれば、個別施策での指標との関係も設置で議論した方が良い。

・「奈良市のみどりの将来像」も「重視すべきみどりの役割」の1つにするような議論があっても良い。

○目標・指標・PDCAについて

・基本施策を各課ヒアリングから実施事業を拾っているのであれば年度ごとの指標はあり、今回提案する指標もそれに近いが、もう少し大きな目標・指標が必要である。「みどりの満足度」「緑視率」だけでは物足りない。

・KPIを設定すると数値を上げることに重視して内容を伴わないのは良くないので、把握できるものはデータを測るが、残りは定性的な評価でもいいのではないかな。

・基本施策毎に指標を作成し、毎年確認する小さいPDCAと、中間年・最終年に確認する大きめのPDCAを切り分けて考えても良い。

・目標・指標が超えていない理由を考えて改善策を考える方がチェックとしては重要。

・定性的な評価が重要な要素が多くあるみどりの基本計画なので、PDCAのあり方を工夫して明記してもいいのではないかな。

・計画を実際に事業化していく際の大小のPDCAチェックの仕組みとリンクした指標も検討してほしい。

・基本方針に対する目標・指標としては小さすぎる。

・「みどりを育む仕組みを構築する」は良いが、みどりに係わる人や仕組みを評価する指標がなく、そのためにデータを基に評価できれば良いが、提示されている指標は一過性の小さなもので、みんなでみどりを育むことが徐々に成功していることが評価できる仕組みが欲しい。

・目標・指標はもっと大きなものではないか

・目標・指標が最終的に実現したい姿（将来像）になっていれば計画としてわかりやすい。

・定性的な指標・目標であっても良い。

○みどりの将来像について

・平面図上で重点施策や現状などを知ることができるみどりの将来像図があっても良い。

・奈良市のみどりの将来像がどういうものになるかによって、施策の見え方が異なる。

○基本方針について

・各課が連動して良くなっていく仕組みを作してほしい。みどりで豊かさがイメージできるようなポジティブワードを基本方針に入れてほしい。

・グリーンインフラ、カーボンニュートラル、ウェルビーイングの3つの役割が、奈良市が目指している豊かなみどりの達成にどうつながるか分からない。

○基本施策について

・「基本方針3 みどりのある暮らしを支える。」にぶらさがる基本施策について「暮らし」を連想できるものにする必要がある。

・項目名が行政計画にありがちな言葉になっており、市民目線のわかりやすいものがよ

い。

○重点施策について

- ・地域別計画とアクションプランをセットで整理して考えた方が良い。

○計画全般について

- ・次回委員会は、全体を見据えてブラッシュアップしていく場を設けてもらいたい。
- ・空間図である将来像図とセットの形が必要である。